

# サントリーホールディングス株式会社

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/activity/environment/eco/forest/>



## 《将来に向けた取組方針》

サントリーグループは、水や農作物など自然の恵みに支えられた総合酒類食品企業として、「人と自然と響きあう」を使命に掲げ、人々の生活を潤い豊かにすることと生物多様性に富んだ自然環境を守り育てることが共存し、人と自然が互いにより影響を与えあって永く持続していく社会をめざします。この使命を実現するために、私たちは自然への尊敬と感謝を忘れず、水をはじめとする自然の生態系が健全に持続していくために様々な活動に取り組んでいきます。

## 《具体的取組み事例》

### ◆「天然水の森」活動～水と生命(いのち)の未来のために

水資源の持続可能性を目指し、水源涵養機能の向上と生物多様性の保全を目標に2003年「天然水の森」活動をスタートしました。「国内工場で汲み上げる地下水量の2倍以上の水」を工場の水源涵養エリアの森で育て、現在15都府県21箇所、約12,000haまで広がっています。



森林の生態系ピラミッド：  
土壌、草木を守ることは、生態系全体を守ることに繋がります。

### ◆次世代環境教育「水育」

子どもたちが自然のすばらしさを感じ、水や、水を育む森の生態系の大切さに気づき、未来に水を引き継ぐために何ができるのかを考える、次世代に向けたサントリー独自のプログラムです。「森と水の学校」と「出張授業」の2つを中心に活動を展開しており、これまでの参加者数は約181,000名となりました。



## 《今後に向けて》

水源涵養や環境保全活動、「水育」などは、国内のみならず北米、欧州、アジアなど、サントリーグループが事業を展開する世界各地にも広がっています。これからもサントリーグループ全体でよりグローバルに「水のサステナビリティ」を追求していく中で、生物多様性の保全に取り組んでいきます。



## 《社会に向けたメッセージ》

「水と生きる」を世界へ

「水と生きる」を社会との約束に掲げる企業として、人々と社会、そして自然と共生した持続可能な社会の実現を目指し、グローバルに挑戦し続けます。

### ◆愛鳥活動

野鳥を保護することは、人間や自然環境を守ることに繋がるとの考えから、1973年より野鳥が住める環境を守る「愛鳥活動」に取り組んでいます。1989年に公益信託「サントリー世界愛鳥基金」を創設し、国内外の鳥類保護活動に助成を行っており、「サシバ」の保全・繁殖活動や「コウノトリ」が安心して暮らせる地域定着への取組など、さまざまな成果に繋がっています。

